憲法を活かして、誰もが人間らしく暮らせる社会へ

北海道社会保障学校 in 北広島

札幌農学校教頭W・Sクラーク博士が明治10年4月、帰国の際に立ち寄り「青年よ大志を懐(いだ)け」という名言を残した地。

明日からの運動に役立つ交流がいっぱいー。職場・地域から誘い合って参加しましょう!

2017年10月22日(日)

開場　10:30　開校　11:00

参加費
1人　1,000円
学生無料
障害者　500円
(障害者の介護者は無料)
※昼食弁当希望者は、事前にご注文を。
お弁当　500円

北広島市芸術文化ホール　北広島市中央6丁目2-1（北広島駅東口出口から徒歩約4分）

記念講演　11:15~12:45

社会保障のゆくえ

MASATERU NAGATOMO
長友薫輝さん　三重短期大学生活科学科教授

分科会　13:30~16:00

第1分科会　国保制度を良くするために
第2分科会　これからどうなる介護保険
第3分科会　障害者が地域で生きていくために
第4分科会　くらしに役立つ制度

主催　北海道社会保障学校 in 北広島実行委員会（委員長　青木 紀　北大名誉教授・前名寄市立大学長）
　　北海道社会保障推進協議会
後援　北広島市　北広島市教育委員会　北広島市社会福祉協議会　北広島商工会

記念講演講師紹介

長友薫輝さん　三重短期大学生活科学科教授

MASATERU NAGATOMO

社会福祉学修士。地域医療、地域福祉に関わる調査研究。社会保障制度・政策論研究。社会福祉援助技術論研究。

社会保障、国民健康保険、地域医療、地域福祉、まちづくりなどのテーマでの講演や、自治体、医療法人、社会福祉法人、患者・当事者団体等での講演、職員研修等を行っています。このほか新聞、テレビ等の各マスコミへの出演、取材協力を行っています。

〔著書〕

『市町村から国保は消えない』自治体研究社、2015年4月
『長友先生、国保って何ですか』自治体研究社、2013年8月（編著）
「地域医療にみる協働・連帯の過程」『医療の政治力学』桐書房、2011年8月
「国保制度問題における自治体の課題」『大都市圏の再生』自治体研究社、2011年8月
「地域医療の崩壊と再生へ向けて」『地域医療と自治体病院』自治体研究社、2008年9月
「四日市公害問題と社会福祉」『四日市学講義』風媒社、2007年7月

〔新書〕

「新しい国保のしくみと財政 都道府県単位化で何が変わるか」2017年7月10日

タイムスケジュール

開校　１１：００
　　記念講演　１１：１５～１２：４５
昼食休憩　１２：４５～１３：３０
分科会　　１３：３０～
閉校　　１６：００

第1分科会　国保制度を良くするために

2018年度から各自治体の都道府県単位化が予定されており、7月に道から市町村に道への納付金の算定案や、国・道の対策案などが出される予定。これを踏まえて、①都道府県化による保険料の負担増を許さない取り組みについて、②高すぎる保険料の引き下げに向けた取り組みについて、③払えない利用者に対する保険利用制限を許さない取り組みなどについて学習し、各地の状況や取り組みを交流します。

小講演　「国保の都道府県単位化の課題」

講師　**三浦誠一氏**（道社保協副会長・道生連会長）

第2分科会　これからどうなる介護保険

今年4月から、全自治体で「新・総合事業」が始まり、報酬減、無資格者の導入、基本チェックリストによる機械的判定などにより、事業所や利用者などに被害が生まれています。さらに、来年度からの第7期以降、国からの事業費が抑制され介護報酬も下がる可能性があります。今年度は来年度からの介護保険計画や高齢者保健福祉計画を検討する年で、必要な制度が受けられるようにさせる取り組みが必要です。改めて、「新・総合事業」の問題点や課題について学習し、必要な介護が受けられるように、各自治体の「新・総合事業」の状況や介護保険計画、高齢者保健福祉計画の検討状況や取り組みについて交流します。

小講演　「新・総合事業の課題と介護・福祉計画」

講師　**斉藤浩司氏**（道社保協事務局次長　・札幌社保協事務局長）

第3分科会　障害者が地域で生きていくために

北広島市は、福祉関係の団体や事業所・養成校が多く、障害者福祉の取り組みが進められています。一方で、高齢の親が傷害をもつ子を介護したり、親亡き後の障害者福祉のあり方が大きな問題になっています。障害者やその家族の実態、施設の状況、国や自治体の施策などを学習し、誰もが住み続けられる地域づくりを考えます。

小講演　「障害者が地域で生きていくために」

講師　**片山和恵氏**（精神障害者を支援する会常任理事・きょうされん北海道札幌支部長）

特別報告「北広島市の障害者と福祉の実態」

報告者　**明河さち氏**（NPO北のまちかど：地域活動支援センターMHC北ひろしま）

第4分科会　くらしに役立つ制度

くらしが大変になっています。少しでも生活を改善させるため、運動をつくってきた「くらしに役立つ制度」を学習する講座です。あらかじめ相談事例を下に、暮らしに役立つ制度を紹介します。

講演「くらしに役立つ制度」

講師

くらし：**佐藤宏和氏**（道生連　事務局長）　税金：**中澤　総氏**（東部民商）　医療・介護：**行沢　剛氏**（勤医協苫小牧病院　）

北広島市芸術文化ホールまでのアクセス

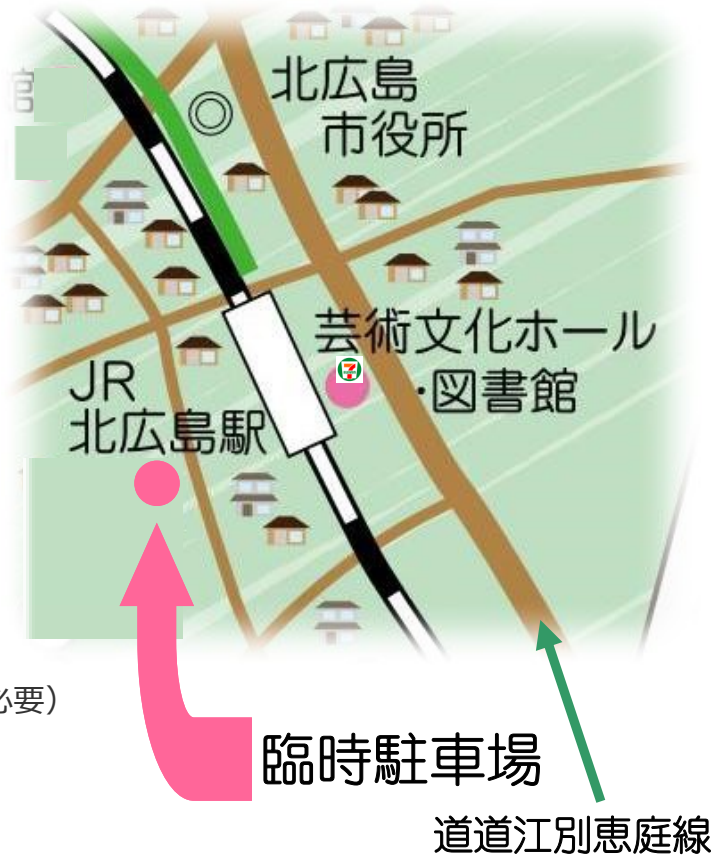
ＪＲでお越しの方（ＪＲ北広島駅東口から徒歩１分）

千歳線

●札幌駅から　　快速「エアポート」（新千歳空港行）で16分

●新札幌駅から　　快速「エアポート」（新千歳空港行）で8分

●新千歳空港駅から　　快速「エアポート」（札幌・小樽・旭川行）で18分



自動車でお越しの方

●札幌市内・千歳市内・岩見沢市内から　　約５０分

駐車場

●北広島市芸術文化ホール

・**臨時駐車場（無料）**

◇芸術文化ホールの駐車場が狭いため臨時駐車場をご利用ください。
◇障害者の方は施設駐車場が便利です。

・**施設駐車場**　午前9時00分から午後10時00分（無料：ホール窓口にて施設利用証印が必要）

●市営駅東口駐車場

・有料駐車場

午前6 時00分から 翌日午前1時00分（有料：150円／１時間）

ホール窓口での施設利用証印で２時間まで無料

北海道社会保障学校 in 北広島　参加申込み書（FAX）

参加者名簿

参加する項目及び昼食弁当「注文」には〇×印を記入してください。
氏名には必ずフリガナをお願いします。

◆分科会名

１：国保制度を良くするために　　２：これからどうなる介護保険
３：障害者が地域で生きていくために　　４：くらしに役立つ制度

参加者氏名	団体名（個人申込みは住所）	電　話	午前	午後　分科会				弁当
			講演	1	2	3	4	500円
フリガナ　サワノ タカシ （例）　澤野　天	北海道社保協	011－758－2648	〇		〇			×
フリガナ								
フリガナ								
フリガナ								
フリガナ								
フリガナ								

◆申込み締め切り：１０月１５日　当日申込有
◆昼食は５００円です。（受付時に代金を申し受けます）

申し込み先
問い合わせ

北広島市周辺地域のみなさん
FAX 011-373-0823　電話 090-9080-0527　Mail hiromiy@mb.infosnow.ne.jp
道内全域
FAX 011-757-6788　電話 011-758-2648　Mail shahokyo@dominiren.gr.jp